

もみじ

-広島県山岳・スポーツクライミング連盟会報-



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail : hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL : <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みすほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 登山教室報告
2. 県民ハイキング報告
3. 役員改選・新理事候補者
4. 国体 S C 競技県選手選考会案内
5. 比婆山国際スカイラン大会に向けて
6. 書評『大人の癒し旅』
7. 写真展の案内と「ひこばえ」写真集紹介
8. 岳連短信

1. 登山教室報告

第 12 回 1 年生 2 年生 3/23(土)~24(日)

登山形態：テント泊山行

山域：比婆山

人数：20 名（スタッフ含）

今回は修了山行という事で 1、2 年生合同で比婆山に行ってきました。2 年生は 2 年間、1 年生は 1 年間それぞれの目標に向かって頑張りました。

(指導部 森本 覚)

『3 月の山行を終えて』

(登山教室 1 年生 堀田 豪紀)

3 月に入っても暖かい日が続いていたので、比婆山にもほとんど雪は残っていないと思っていたのですが、1 日目から雪が降り始め 2 日目には少し雪が積もって、綺麗な新雪を踏めて気持ち良い山行になりました。

今回の山行は今年度最後の山行なので、宿泊地の大膳原でロープワークの確認テストを行いました。2 年生がフィックスロープを張り、1 年生がそのロープを使ってクレムハイストで通過しカラビナの掛け替え

を行ったり、ツェルトの張り方、ザック搬送の確認などを行いました。

私は、簡易ハーネスやクレムハイストの結び方は覚えて行っていたのですが、クレムハイストを前に進めるときは結び目を持たずに押し出すようにしなければいけないと教えられていたのに、それを忘れていて結び目を握ってしまいスタッフの方に注意を受けました。結び目を持つてしまうことは、落ちたときにクレムハイストが効かずにそのまま滑落してしまう危険なことです。自分では解っているつもりになっていることでも基本的な重要なことがぬけていることがあります。それを客観的な目でいつも指摘して頂ける環境に感謝しています。本番でのミスは大きな事故に繋がるので、同じミスを行わないようにしっかり覚えておきます。

今回の山行で 2 年間の教室の半分を修了しました。山行後の 2 年生の修了式に参列して、2 年生を送り出す寂しさとともに、あと 1 年しかないカリキュラムの中でできるだけの知識・技術を習得しなければならないと改めて身が引き締まりました。

『第 12 回登山教室を終えて —— 皆様、ありがとうございました』

(登山教室 2 年生 神崎 直剛)

この 2 年間、振り返ると「あっ」という間に思えますが、思い返すとあれも此れも思い出深い経験となりました。あの山もこの山も思い出でいっぱいです。一人で登ったのでは、感動は景色ぐらいでしょうが、気の合う皆と一緒に、自分がしんどかったことや、失敗したこと、また、仲間がしたこと、リーダーから注意を受けたこと、褒められたこと、教わったこと、

また、美味しい食事を食べたこと、楽しいお酒を飲んだことも。しかし、最後の晚餐で皆さんに迷惑を掛けてしまいました。「すみませんでした。」また、計画や報告・食事の書類の作成が大変だったこと、など全てが掛け替えのない大事な思い出です。

そして、教室の縁で知り合った仲間との繋がり、特に同期生、「ありがとうございました。」今後も皆さん、たまには、一緒に登ってください。

最後に、スタッフの皆様、ありがとうございました。「最高に楽しかったです。」三嶺でめぐり会って（救助されて）感謝・感謝です。

この2年間の経験を活かして次の山を目指します。



（写真提供 松本 正和）

2. 県民ハイキング報告

3月 24 日（日）広島市安芸区 高城山～蓮華寺山（スカイレールみどり中央駅からJR安芸中野駅への縦走）

参加者数：一般 23、担当団体（広島パイオニアクラブ）

13、担当団体以外会員 34、計 70 人

行動時間（45分の昼食休憩ほかを含め）5時間15分

昨年度最後となる当連盟主催の第 30 回県民ハイキングは、春らしい穏やかな天候の中、多くの方に参加いただき盛況でした。

まずは皆さん JR 濑野駅からスカイレールに乗って集合場所のみどり中央駅に向かう予定でしたが、5年に1度の点検ということで代行バスとなり残念がられていました。

中央駅横の広場で開会式・コース説明・ストレッチの後、3班に分かれて出発。途中急登もありましたが、1時間半弱で高城山到着。記念写真、歴史解説「スカイレール」、ワンポイントレッスン「登山計画書と保

険」、昼食。

蓮華寺山手前の「蓮華寺温泉『猪（しし）の湯』」で2度目の解説後、蓮華寺山頂で記念写真と3度目の解説「広島新四国八十八か所 第三十六番霊場 蓮華寺」。ここでは地元出身の京才名誉会長からも一言。

あとは何体も並ぶお地蔵さんを数えながら、ほぼ1時間で安芸中野駅に到着、閉会式。

以下は、担当団体の広島パイオニアクラブ・堀内輝章さんからの報告です。

当会、2度目の県民ハイキング担当は安芸区瀬野地域の高城山から蓮華寺山縦走でした。前年は何かと不慣れで戸惑いもありましたが、今回は幸い事故もなく、無事終了することができました。

会員数 20 名の小所帯で、はたしてスタッフの確保ができるか不安でしたが、幸いメンバーに恵まれ、下見も雪化粧のなか入念に行いました。

当日はスカイレールが点検のため利用できませんでしたが、かえって一回の輸送人数が増え、スタート時間も、当初の予定より早めることができました。

トイレ場所の案内等、一部不手際もありましたが、天気にも恵まれ、スタッフ含め総数 70 名の参加となりました。

一般参加の方の中には、これから読図も覚えたい、歩行技術も身に付けたいなどの希望もありました。参加者のレベルも少しづつではありますが、アップしていることを感じました。

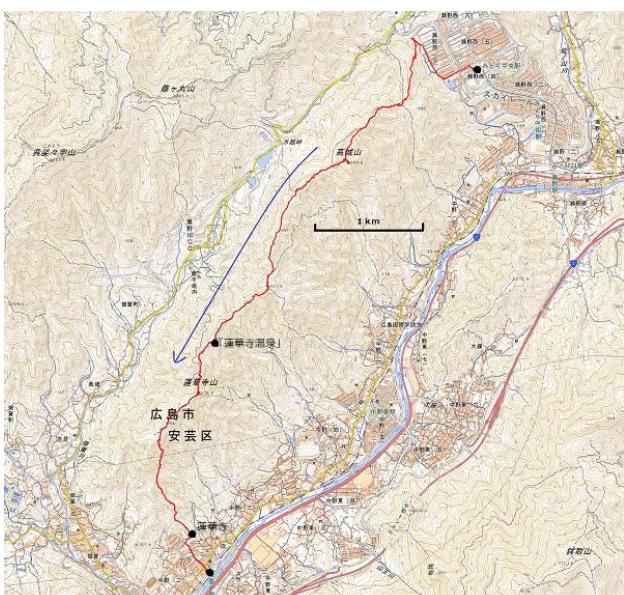
また、一部急登や足場の悪い所も快調に通過でき、事故もなく全員安芸中野駅にて解散することができました。

いくつかの反省点もありますが、これを機に次回の実施に生かしたいと思います。



（高城山にて、小田里子さん撮影）

(以下、西部撮影・GPS 軌跡編集)



なお、今年度の県民ハイキングは6月から毎月1回行います。今年度の概略（期日と場所）は、『もみじ』前号（182号）に掲載しています。連盟ホームページの「会報誌」のページからダウンロードしてご覧ください。（なお、7月にも7/21三段峡が追加されます。）

3. 役員改選・新理事候補者

今年度始めは理事の改選期になります。この2年間理事を務められた次の方々ご苦労様でした。

- () 内は連盟内の役職と所属会
- 山田雅昭（会長、広島山岳会）
- 岡谷良信（副会長、個人会員）
- 亀井且博（副会長、広島山岳会）
- 大田祐介（副会長、福山山岳会）
- 佐藤建（副理事長、C E R O クライミングクラブ）
- 村井仁（普及部長、広島県庁山の会）
- 松島宏（国際部長、広島登山研究所）
- 仲井正美（ひこばえ）
- 豊田和司（理事長、自然と文学愛好会広島）
- 後藤裕司（指導部長、広島大学山の会）
- 宇山茂之（山を歩く会・庄原）
- 永津信吉（マツダ親和会山岳部）
- 新山まゆみ（広島修道大学山岳会）
- 西部伸也（事務局長、タンネンクラブ）
- 小田里子（広島パイオニアクラブ）
- 福永やす子（東広島山の会）
- 堀内輝章（広島パイオニアクラブ）
- 大平哲也（広島県高体連登山部）
- 錦織宏美（競技部長、C E R O クライミングクラブ）

今年度～来年度の理事候補者は次の方々です（太字は新）。4/24の理事会を経て5/11の定期総会で承認となります。

- 山田雅昭（広島山岳会）
- 亀井且博（広島山岳会）
- 大田祐介（福山山岳会）
- 村井仁（広島県庁山の会）
- 松島宏（広島登山研究所）
- 豊田和司（自然と文学愛好会広島）
- 後藤裕司（広島大学山の会）

宇山茂之（山を歩く会・庄原）
 永津信吉（マツダ親和会山岳部）
 新山まゆみ（広島修道大学山岳会）
 西部伸也（タンネンクラブ）
 福永やす子（東広島山の会）
 堀内輝章（広島パイオニアクラブ）
 錦織宏美（C E R O クライミングクラブ）
 森本覚（F C C）
 岩城正人（マツダ親和会山岳部）
 西川省吾（C E R O クライミングクラブ）
 三村孝治（広島県庁山の会）
 近藤道明（日本山岳会広島支部）
 内藤弘泰（広島県高体連登山部）

4. 国体 S C 競技県選手選考会案内

4月 28 日（日）に府中町のクライムセンターCEROにおいて第 74 回国民体育大会スポーツクライミング競技（注）広島県選手選考会 兼 2019 年度強化・育成選手選考会が行われます。（注）従来の「山岳競技」が今年から名称変更

大会要項は当連盟ホームページの「ニュース」に掲載しているリンク先から見れます。9 時過ぎ～16 時頃が競技時間となります。都合がつきましたら、皆さんぜひ応援に出かけましょう。ここ 2 年、広島県勢は中国ブロック大会は通過するものの、本大会では入賞がありません。今年はブロック大会（6/21～23 島根県松江市）通過はもちろん、本大会（10/4～6 茨城県鉾田市）でも好成績をあげられますよう、選手ならびに競技部スタッフの皆さんのご活躍を祈ります。

5. 比婆山国際スカイラン大会に向けて

当連盟のメインイベントの一つと言える比婆山国際スカイラン大会（第 27 回）並びに登山フェスティバルが、比婆山の山開きに合わせて 5 月 25 日（土）～26 日（日）に開催されます。

すでに実行委員会では昨秋より月 1 回のペースで会議をもって準備を進めているところですが、今後の予定等を改めてお知らせし、ご協力のほどをよろしくお願いしたいと思います。

- 4/3 現在の選手エントリー数：517（昨年は 4/4 の

時点で 548）

- 今年は韓国大邱市から招待の男子選手が参加予定
- 今後のスケジュール
実行委員会 4/17（水）、5/15（水）、5/22（水）
看板掛け・コース整備 4/13（土）～14（日）
コース整備・リハーサル 5/18（土）～19（日）
直前準備・本番 5/25（土）～26（日）
後片付け 6/1（土） 反省会 6/5（水）
事務局作業 4/24（水）11 時～、5/22（水）11 時～

6. 書評『大人の癒し旅』

（理事長 豊田 和司）

『大人の癒し旅』

（南々社 2019 年 4 月 1 日発行 1600 円+税）

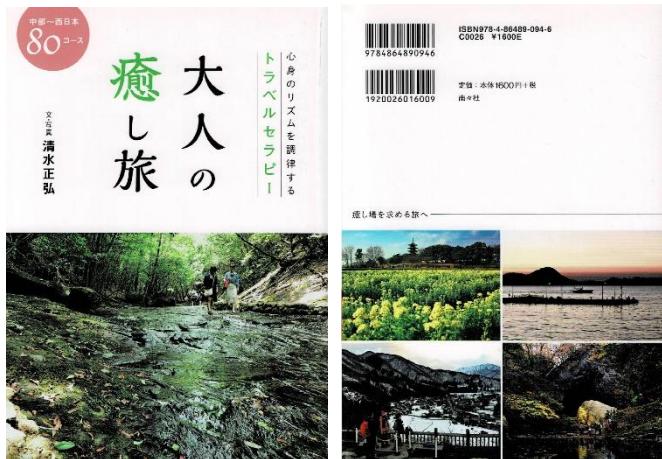
現在健康ツーリズム研究所代表であり、山岳・辺境文化セミナーの発案者でもある清水正弘氏の最新のガイドブックである。中部から西日本にかけての「癒し旅」80 コースが紹介されている。まず、写真が素晴らしい。各コースに 6 枚、全部で合わせて 500 にものぼる大小の写真は全て清水氏によるもので、氏の半世紀に渡る魂の軌跡でもある。どの小品にも、一刷けの詩情（ポエジー）が感じられる。つまり、この本は写真集としても楽しむことができるのだ。

ほとんどが知らなかつたコースだが、行ったことのあるコースでも、氏の含蓄ある解説を読むことで、過去の経験に別の意味が与えられるような気がする。その秘密は、前書きで明かされる。氏は人生を音楽に例え、「この本で取り上げる場所の磁場エネルギーとは（中略）新たな人生を奏でるための人生のリズムを調律してくれる」のだという。80 のコースは、「21 世紀の修験者」のような作者が、我々の魂の救済のために設定してくれた巡礼の場所でもあるのだろう。

コースタイムは一切ないので、読者は自分で旅を計画することになるが、最寄りの施設の連絡先など適切なアドバイスがあり、全て温泉付きなのもうれしい。かつて「書を捨てよ、町へ出よう」と寺山修司は言った。皆さん、この本以外の書を全て捨てて、この一冊だけを持って旅に出ませんか？

* 当連盟で購入すると、税金はサービス致します。

先着 50 冊！



平成11年3月
広島県山岳連盟幹事会卒業

同年4月「ひこばえ」結成

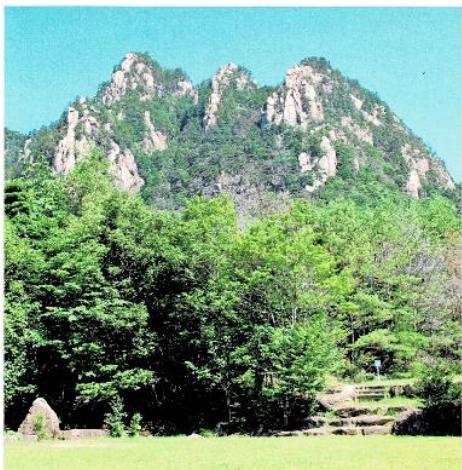
(結成当時)

7. 写真展の案内と「ひこばえ」写真集紹介

当連盟の所属団体であった『ひこばえ』が、会員の高齢化のため昨年度をもって解散し当連盟から退会しました。それに伴い、当会が長年NHK広島放送局の2階ギャラリーで開催していた写真展を当連盟が引き継ぐことになりました。とりあえず今年度は、9/17(火)～9/22(日)の期間で開催します。期日が近づいて参りましたら、作品の応募等を含め、詳細を会員の皆様にお知らせします。

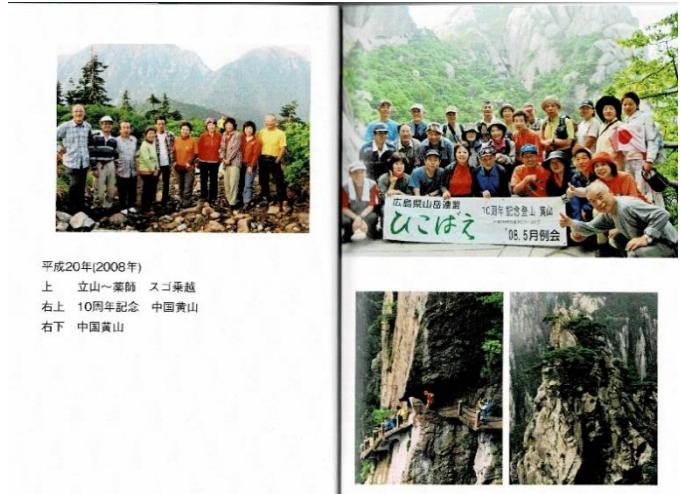
なお、ひこばえからは、『「ひこばえ」20年の歩み』と題した写真集を当連盟に寄贈いただきました。ひこばえ会員の皆様、長年の間ご苦労様でした。個々の皆様の当連盟へのご協力を今後ともよろしくお願ひします。

以下、写真集からいくつかのページを抜粋して掲載します。

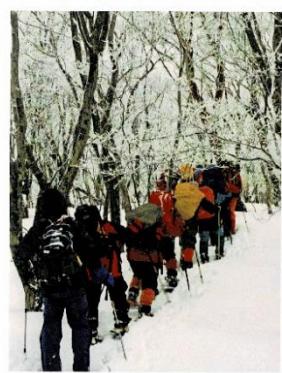
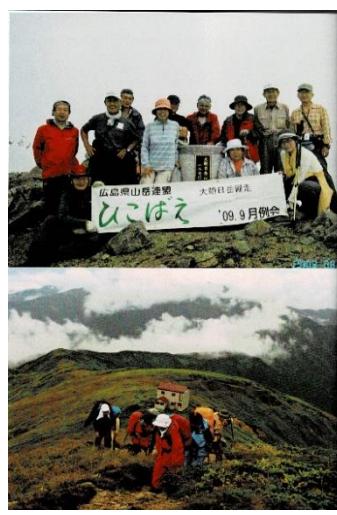


「ひこばえ」20年の歩み

(表紙)



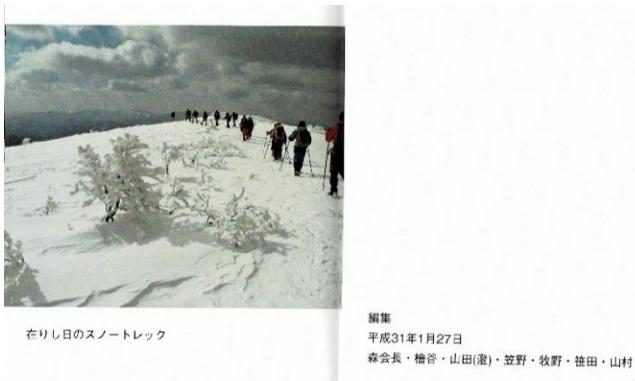
(結成 10 周年当時)



平成21年(2009年)
左上 東北遠征 大朝日岳
左下 同上
右 スノートレック比婆山



(スカイラン支援・写真展)



(最終頁)

8. 岳連短信

1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No. 468（4月号）

福山山岳会『会報』H31.4月号

2. 4~5月の行事案内（スカイラン関係を除く）

（集合時間・場所等の詳細は当連盟ホームページの「岳連カレンダー」のページを開き各行事をクリックすると確認できます）

4/14 岳連例会山行（鬼ヶ城山、羅漢山）

4/24 本年度第1回理事会（第2回運営会議を兼ねる）

4/28 国体SC競技広島県選手選考会（C E R O）

4/29~30 福山山岳会100周年記念行事（山野中学校体育館・山野農村公園・馬乗観音または山野峠）

5/11 定期総会・懇親会（東方2001）

5/18~19 中国五県自然保護研修会（山口県下関市蓋井島）参加申込は4月末まで（県岳連でとりまとめ）

5/22 岳連例会山行（大峯山、河平連山）

3. 夏山リーダー養成講習会の今年度開催見送り

もみじ182号で案内していた7/28・8/17~18・9/1の夏山リーダー養成講習会は今年度の開催が見送られることになりました。

J M S C A公認夏山リーダーの制度は、その主な対象を未組織の登山者としています。したがって一般的の登山者にもこの制度を認知していただくことが重要ですが、講習会実施までには周知期間が足りないと判断したためです。

4. 「山のファーストエイド研修会」の案内

同じくもみじ182号で案内していた6/29~30の無雪期レスキュー講習会は「山のファーストエイド研修会」として、県東部からも参加しやすいよう三次市の「ほしはら山のがっこう」で開催されることになりました。

詳細については当連盟ホームページの「ダウンロード」→「イベント開催」のページから要項・参加申込書のpdfファイルを各自のPCにダウンロード(保存)してご覧いただき、奮ってご参加ください。（申込期間は6/1~6/16）

5. 本年度定期総会の案内

日時 5月11日（土）15:00~16:30

場所 ホテルチューリッヒ東方2001

本年度初めは理事改選期であり、当総会において新理事の方が承認されます。表彰制度新設に伴う第1回目の表彰もあります。また、総会終了後には懇親会も持たれます（会費4,000円）。

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽に寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。隨時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。